

プログラム

開会式

9:50~10:00

第 1 会場

開会の辞、大会長挨拶：木村百合香（昭和医科大学江東豊洲病院 耳鼻咽喉科）

SL 特別講演

10:00~10:50

第 1 会場

「嚥下の神経機構におけるファンダメンタルズ」

座長：平野 牧人（近畿大学医学部 脳神経内科）

演者：梅崎 俊郎（福岡歯科大学 耳鼻咽喉科）

PD1 パネルディスカッション 1

10:55~12:15

第 1 会場

「嚥下障害の外科治療：私の手術のエッセンス」

座長：上羽 瑠美（東京大学医学部附属病院 摂食嚥下センター）

杉山庸一郎（佐賀大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

PD1-1 筋萎縮性側索硬化症への対応：外科的治療を含めて

杉山庸一郎（佐賀大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）

PD1-2 パーキンソン病・多系統萎縮症の声帯運動障害と嚥下障害への外科的対応

上羽 瑠美（東京大学医学部附属病院 摂食嚥下センター/東京大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

PD1-3 封入体筋炎に対する嚥下手術を考える

河本 勝之（淡海ふれあい病院 摂食嚥下センター/淡海医療センター 頭頸部甲状腺外科センター）

PD1-4 遺伝性筋疾患による嚥下障害の手術治療戦略

平野 愛（東北大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科/仙台西多賀病院 耳鼻咽喉科）

LS ランチョンセミナー

12:20~13:10

第 1 会場

「脳神経内科疾患の気管切開～適応決定から気管カニューレ管理まで～」

座長：藤本 保志（愛知医科大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）

演者：二藤 隆春（国立国際医療センター 耳鼻咽喉科・頭頸部外科/音声・嚥下センター）

共催：泉工医科工業株式会社

SY シンポジウム

13:15~14:45

第 1 会場

「筋疾患による嚥下障害」

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野）

SY-1 筋疾患の嚥下障害～神経病理学の視点から～

倉重 毅志（NHO 呉医療センター 脳神経内科）

SY-2 嚥下障害をきたす神経筋疾患の電気診断

東原 真奈（徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学分野）

SY-3 サルコペニアの嚥下障害

巨島 文子（諏訪赤十字病院 リハビリテーション科）

SY-4 放射線関連嚥下障害の基礎と臨床

熊井 良彦（長崎大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

ES 教育セミナー

14:50~15:25

第 1 会場

「摂食嚥下評価を食事へつなげる臨床的アプローチ：食形態決定の実際」

座長：野崎 園子（関西労災病院 脳神経内科）

演者：齋藤 真由（東京都立荏原病院 歯科口腔外科 摂食嚥下支援センター）

PD2 パネルディスカッション 2

15:30~17:00

第 1 会場

「神経筋疾患の食と呼吸を支える：多職種連携のハードルと対応困難例からの学び」

座長：富田 聡（国立病院機構宇多野病院 脳神経内科・臨床研究部）

清水 充子（埼玉県総合リハビリテーションセンター リハビリテーション部（言語聴覚科））

PD2-1 ALS 診療における「食べる・息をする・話す」の分岐点

宮川 晋治（東京慈恵会医科大学附属柏病院 脳神経内科）

PD2-2 耳鼻咽喉科医の立場から～どうする誤嚥と神経難病～

西山耕一郎（西山耳鼻咽喉科医院/東海大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

PD2-3 神経筋疾患患者における咀嚼・嚥下障害と口腔機能低下への支援

吉川 峰加（広島大学大学院医系科学研究科 先端歯科補綴学）

PD2-4 「食べたい」という願いに、認定看護師としてどう向き合うか

臼井 晴美（国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター病院）

**PD2-5 食と呼吸のはざまで言語聴覚士は何をみるか
—経口摂取支援と多職種連携のハードル—**

荻野 智雄（国立病院機構宇多野病院 リハビリテーション科）

閉会式

17:00～17:05

第 1 会場

一般演題 1【研究（パーキンソン病）】

10：55～11：35 第 2 会場

座長：荒畑 創（国立病院機構大牟田病院 脳神経内科）

○1-1 「進行期パーキンソン病の嚥下障害に対する持続経皮注射療法の効果」

平野 牧人（近畿大学医学部 脳神経内科）

○1-2 「パーキンソン病の嚥下障害に対するサフィナミドとオピカポンの効果と比較」

寒川 真（近畿大学医学部 脳神経内科）

○1-3 「Parkinson 病の嚥下障害に対する safinamide 増量の効果」

磯野 千春（近畿大学病院 リハビリテーション部）

○1-4 「パーキンソン病に伴う嚥下障害における近位食道異常収縮と L-dopa 反応性」

富田 聡（国立病院機構 宇多野病院 関西脳神経筋センター 脳神経内科・臨床研究部/同 摂食・嚥下センター）

○1-5 「パーキンソン病の首下がりが嚥下に与える影響」

山本 敏之（国立精神・神経医療研究センター病院 脳神経内科）

一般演題 2【症例 1（リハビリテーション）】

11：35～12：15 第 2 会場

座長：梅本 丈二（福岡大学病院 摂食嚥下センター）

○2-1 「筋強直性ジストロフィーに対する頸部干渉波刺激の試み～食事形態変更に至った一例～」

武末史知子（国立病院機構大牟田病院 リハビリテーション科）

○2-2 「人工呼吸器管理下で経口栄養を確立した Guillain-Barré 症候群の 1 例」

別府 輝（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 リハビリテーション科）

○2-3 「多職種介入により経口摂取不能から常食摂取に至った短腸症候群合併 ICU-acquired weakness の 1 例」

吉田 志竜（国立病院機構宇多野病院 リハビリテーション科）

○2-4 「胃瘻造設後のパーキンソン病の嚥下障害に食道入口部バルーン拡張療法を試みた一例」

福田 和浩（社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 リハビリテーション科診療部）

○2-5 「誤嚥防止術後の長期経過中に肺炎を発症したパーキンソン病の 2 例」

荻野 智雄（国立病院機構宇多野病院 リハビリテーション科）

SS スイーツセミナー

14:50~15:30

第 2 会場

「重症筋無力症と嚥下障害～多職種で気づき、治療につなげる～
神経筋接合部からみた症状変動と治療のポイント」

座長：平野 牧人（近畿大学医学部 脳神経内科）

演者：木田 耕太（東京都立神経病院 脳神経内科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社

一般演題 3【症例 2（外科治療・神経病理）】

15:35~16:07

第 2 会場

座長：山本 敏之（国立精神・神経医療研究センター 脳神経内科）

O3-1 「嚥下機能改善術後に A 型ボツリヌス毒素製剤の唾液腺内投与を継続しながら嚥下訓練を行った抗 AQP4 抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の一例」

平林 瑛子（東京都立荏原病院耳鼻咽喉科/昭和医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）

O3-2 「「嚥下症状を伴う機能的神経学的症状症」の取り扱い」

小西 正訓（中村記念病院 耳鼻咽喉科）

O3-3 「パーキンソン病における食道機能障害と食道下部 α シヌクレイン沈着を認めた剖検例」

梅本 丈二（福岡大学病院摂食嚥下センター/NHO 大牟田病院神経筋センター）

O3-4 「発症時より一貫して嚥下障害が前景に立った封入体筋炎の剖検例」

馬場 悠輔（東京都健康長寿医療センター 脳神経内科/東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経内科学/国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部）

一般演題 4【研究（神経筋疾患）】

16:10~16:42

第 2 会場

座長：渡辺 宏久（藤田医科大学医学部 脳神経内科学）

O4-1 「標準ディサースリア検査と経口摂取状況の関連についての検討」

高橋 健祐（東京大学医学部附属病院 脳神経内科）

O4-2 「干渉波電気刺激装置を用いた嚥下訓練を長期間継続した 11 症例の検討」

山本 陵太（福岡山王病院 音声・嚥下センター）

O4-3 「神経筋疾患における胃瘻造設の効果とその予後」

荒畑 創（NHO 大牟田病院 脳神経内科）

○4-4 「甲状披裂筋弁による声門閉鎖術」

二藤 隆春（国立国際医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科/音声・嚥下センター）